

# 【世田谷区】

## 認証学童クラブ先行実施事業の実施状況報告

- ・学校行き渋り児童の受入れ
- ・保育園との交流
- ・子どもが主体的に活動する学童
- ・開所時間の延長

# 東京都認証学童クラブ制度 先行実施事例テーマの 実施について

2024/11/15

(株)ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー  
学童事業部

# ① 学校行き渋りへの対応＞ひといきプラスのサービス拡大（桜新町）

## 今日は学校に行きたくない・・・と思った際に、午前中利用できる居場所を提供します

小学生とその保護者に、「ひといき」ついでにいただける場を提供したい



### ＜サービス概要＞ ※文京区内で実施中の「ひといきプラス」の拡大版

**概要：** 小学生が「学校に行く」ことに難しさを感じたとき、保護者は「休んでいいよ」と言ってあげたいながらも突然の予定調整に苦慮されることもあると聞きます。「ひといきプラス」は、小学生とその保護者がほっとひといきつけるよう、学童クラブのAMの時間を利用して小学生を受入れ、少人数の居場所で見守ります。

**2024年度後期は、本サービスを東京都の「認証学童クラブ先行実施事業」に採択いただき、全額が東京都負担で運営できる見込み**であることから、世田谷区と協議の上、運営日数を拡大します。

#### ＜文京区（本駒込）での実施状況＞

2024年6月からサービスINしたが、約4か月間で利用者なし。

「利用は会員限定」「入会金がかかる」「利用料金がかかる」「月曜のみ」「告知不足」などの理由のうち、どれが利用に支障となっているのかを検証するため、世田谷区においては、「無料・平日全日実施」で先行実施テストを行う。

### サービス詳細

**利用対象：** 世田谷区内の小学生すべて（小1-6）  
**利用料金：** 0円（入会金も徴収しない）  
**実施期間：** 2024年12月1日～2025年2月28日  
**運営曜日：** 月曜日～金曜日（祝日・学校休日である指定日を除く）  
**運営時間：** 午前9時～午後1時 ※午後は学童クラブ利用可（～19時）  
**実施場所：** ベネッセ学童クラブ桜新町（先行事例事業の指定拠点）  
**利用定員：** 1日あたり5名まで（予約可とする） **※保護者送迎必須**

※配慮児童受入れ時予約必須& 1日の受入該当児1名のみ

※事前に保護者同伴の面談必須。当日面談とする場合もあり

**スキーム：** 放課後児童健全育成事業

※認証学童の先行事例のため、上記事業として実施。資格要件が放課後児童健全育成事業と同等。

**職員配置：** 2名（1名以上 放課後児童支援員認定資格修了者配置必須）

**サービス告知：** 世田谷区内の「ほっとスクール」・区施設などでのビラ掲示  
区内公立小学校への告知、BSCホームページでの告知

# ① 学校行き渋りへの対応＞ひといきプラスのサービス拡大（桜新町）

## 今日は学校に行きたくない・・・と思った際に、午前中利用できる居場所を提供します

小学生とその保護者に、「ひといき」ついでにいただける場を提供したい

### <運営時間中のイメージ>

9時～：開所、受け入れ開始・保護者に対して状況ヒアリング、アレルギーチェック、

児童の健康確認（体調不良児は受け入れ不可）

10時～：自由時間・読書・おしゃべり・自習・おひるね等

※興味がある児童は「工作」や「料理」等に取り組む

※全員の気持ちがそろえば「お散歩」にも出かけます

（お散歩に出られない場合はテラス遊び等検討）

12時～：おひるごはん

※ベネッセパレットのお弁当、もしくは持参のお弁当

※料理イベント日には試食あり

13時～：帰宅準備もしくは学童に参加する準備・おそうじ

～14時：閉所・さようなら



### 補助請求想定額 内訳：

人件費、教材費、食費（昼食・おやつ・お茶等）、午後利用時の保育料実費、保険料等

No	項目	内容	金額	数量	合計	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

設計・試算中

実施日：

12月 2・3・4・5・6・9・10・11・12・13・16・17・18・19・20・23・24日 17日間

1月 6・7・8・9・10・14・15・16・17・20・21・22・23・24・27・28・29・30・30日 19日間

2月 3・4・5・6・7・10・12・13・14・17・18・19・20・21・25・26・27・28日 18日間

合計54日間予定

本施策は、運営にかかる費用を全額世田谷区（経由東京都）に補助請求いたします（都10/10補助）。補助請求想定額は約1,500千円です。

## ②小1の壁対策＞地域の園児との交流（芦花公園）

こども・保護者が、小学校入学後の放課後のイメージをもつことができ、スムーズに小学校生活に慣れるための活動を地域で行う

### ＜サービス概要＞ ※毎年度、民設学童で実施している地域交流の拡大版

**概要：** 保育園・幼稚園を卒園後、小学校に入学するだけでなく学童クラブを利用し始めることについて、こども・保護者がより明確にイメージを持つことができるよう、イベントを実施し、参加により就学後の不安を削減させる。  
また、入学後の小学校・学童での生活の安定を狙う。

通常は、各クラブで「次年度入会対象者」を中心に実施している施策ですが、2024年度後期は、**本サービスを東京都の「認証学童クラブ先行実施事業」に採択いただき、全額が東京都負担で実施できる見込み**であることから、世田谷区と協議の上、交流の範囲を拡大し、ベネッセに入会されない児童（新BOPに行く児童など）も対象に、児童館・新BOP・近隣保育園などとも連携しながら、小学校の放課後のイメージが持てるような活動を行います。



### サービス詳細

**対象：** 2025年度に芦花小学校に入学する予定の、年長児童  
**参加料金：** 0円  
**実施期間：** 2024年12月1日～2025年3月31日の間の4日程（予定）  
**実施曜日：** 土曜日（各月ごとに1日程の予定）  
**運営時間：** 午前10時～午後5時の間で、1時間×3枠 ※合計12枠  
**実施場所：** ベネッセ学童クラブ芦花公園（先行事例事業の指定拠点）  
**定員：** 1枠あたり20名まで（WEB予約制） **※保護者参加必須**  
**※ベネッセ入会予定児童以外も含める**  
**※本先行実施事業の検証に協力いただくことを合意いただけるかたのみ参加とする**

**スキーム：** 放課後児童健全育成事業  
**※認証学童の先行事例のため、上記事業として実施。資格要件が放課後児童健全育成事業と同等。**

**職員配置：** 2名以上（1名以上放課後児童支援員認定資格修了者配置必須）

**サービス告知：** BSCホームページでの告知、学童C芦花公園での掲示、近隣保育園・幼稚園への掲示、児童館への掲示等

## ②小1の壁対策＞地域の園児との交流（芦花公園）

こども・保護者が、小学校入学後の放課後のイメージをもつことができ、スムーズに小学校生活に慣れるための活動を地域で行う

### ＜実施内容のイメージ＞

既存施設で行い評判のよかったコンテンツを中心に、未就学児が小学校の生活や放課後の過ごし方をイメージできるよう、クラブの小学生とともに活動を行います。

#### ①学び体験イベント「しりとりにトレイン」

文字を書いたり読んだりしながら、お友だちとつなげていくゲーム感覚での学び体験です。

#### ②・③工作体験イベント「季節工作」

季節にちなんだ工作で、自分らしさを考えながら、製作に取り組みます。その中で、色やかたちの理解を確認します。  
また、他のこどもや小学生とコミュニケーションをとりながら、協働で進める楽しさを感じます。

#### ④学び体験イベント「さんすう教室」

かたちや数字などに触れ、楽しみながら「授業」を体験します。

実施順序は調整中です。

### 補助請求想定額 内訳：

人件費、教材費、講師料、保険料等

No	項目	内容	金額	数量	合計	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

設計・試算中

実施日：

12月、1月、2月、3月に1日程ずつ設定

1日あたり3枠（1時間ごと。10-11時、13-14時、16-17時というイメージ）で設定

各回定員20名想定

本施策は、運営にかかる費用を全額世田谷区（経由東京都）に補助請求いたします（都10/10補助）。補助請求想定額は約1,100千円です。



## キッズクラブ経堂の提案

### ○実施事業名

子どもが主体的に活動する学童保育の実現に向けた**職員のスキルアップ**と**子どもの意見の実現に向けた取り組み**

## 実施事業の詳細

○**子どもが「子どもの権利」を柱に主体的に活動できる**ように、子どもの意見を引き出し、拾い、向き合える環境を整える。

○子どもの「**どうしたい」「どうありたい」「何を学びたい」「何が欲しい」「どこへ行きたい**」といった意見(子どもの意見表明権)にどこまで寄り添い叶えられるか、を土台とし、子どもにとって魅力溢れる保育環境を整えていく。

○子どもの意見の実現化に向けて、**計画 (Plan) → 実行 (Do)** (出来る限り子どもが参加をする。職員はそのサポート)。

○施設環境の改善・充実 → **意見を踏まえての施設備品等を充実**させていく  
( 例：おもちゃ・本(漫画を含む)・工作道具・棚・机等 )

○**イベント・行事等の実施** → 例：季節の行事(クリスマス、ハロウィン等)、遠足(バス、電車移動含む)

## アクションプラン

- ① 子どもの権利条約についての学びを深める → 外部の専門家を呼んで研修を受ける (コンプライアンス)
- ② 外部施設への視察 ( 実際に子どもが主体となって運営する施設について学ぶ )
- ③ 意見を引き出す為の職員スキルの向上→外部講師による研修 ( ファシリテーション研修 )
- ④ 子どもが意見を言い合える場 ( 子ども会議、おやつ会 )、アンケート、目安箱、意見掲示スペース(掲示板)等  
子どもの意見への返答(実現可能か、どう実現する、改善案)※返答方法→説明の機会設定、子ども会議で返答、掲示板



## 見込まれる効果・KPI設定

### ○児童

- ・子どもの意見に耳を傾け、しっかりと向き合うことで、子どもにとって充実した放課後の時間を保障することに繋がる。
- ・学童クラブで自分の意見を相手に伝える経験を多くすることで、コミュニケーションに必要な表現力や論理的・主体的思考力、緊張の克服又は、軽減の方法を身につけられる。
- ・自ら参画した事柄で学童クラブを充実させていく成果を得ることで、自己肯定感や学童クラブへの帰属意識が芽生える。

### ○保護者

- ・保護者は安心して学童クラブに子どもを預けられ、仕事・家事などに専念することで、精神的なゆとりを持てる。
- ・学童クラブで自ら参画した活動を家庭で保護者へ報告・相談することで、親子の会話の充実と子どもの成長を実感。

### ○職員

- ・職員にとっては、様々な研修や視察などで知見を広げられ、ファシリテーションスキルや子どもに関する様々なスキルを身に付けられ、継続的に更新していく機会が得られる。
- ・社内で共有し引き継がれていくことで、得られた知識や経験が一時的、局所的なものではなく、会社全体の職員の資質向上がされ、保育の質が底上げされていく。
- ・保育の質が底上げされることによって学童業界全体の保育の質の改善の一端を担うことができる。

★アンケート・目役箱を集計し掲示するとともに子ども会議を月次開催・ ➡ 議案の提示及びファシリテーション Plan→Do →Check→Action のサイクルを回す

### ○キッズクラブ経堂

★令和7年度登録児童数 目標設定 30人

# 【世田谷区】認証学童クラブ先行実施事業の実施状況報告

## 1 クラブ名

深沢わこう学童クラブ

## 2 事業実施の目的

保護者の就労等により長時間施設に滞在せざるを得ない児童に対し玩具や設備の充実や人員配置を手厚くすることで児童一人ひとりの生活の質の向上を図り、健全な心身の育成に寄り添うと共に、保護者の安心と就労時間等を確保するため

## 3 事業内容

朝と夕（夜）の延長利用の実施。保護者は連絡用アプリで利用登録を行う。

- ・朝 7:15～8:14（長期休み・休校日に実施）
- ・夕 18:16～19:00
- ・夜 19:01～20:15

### 【工夫している点】

- ・休校日（長期休み、学校休業日など）の時に、仕事の出勤にあわせて安心して子どもを預けられるよう時間を設定
- ・子どもが安心して過ごせるよう、職員配置を多くしたり、1人又は少人数で遊べる玩具をそろえている。また、リラックスできる空間、クッション等の環境設定を行っている。

## 4 実績（令和6年11月1日時点【登録人数30名】）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
朝延長※	14人	2人	3人	39人	63人	2人	延べ121人
夕延長	31人	21人	7人	8人	15人	10人	延92人
夜延長	7人	3人	1人	0人	4人	0人	延べ14人

※朝延長は、長期休み・休校日に実施

## 5 利用者の声

### 【児童の声】

- ・朝や延長の時間にしか遊べない特別な玩具があって嬉しい。
- ・朝からお兄さん、お姉さん（学生アルバイト）がいて、遊んでくれたりするので嬉しい。
- ・玩具やクッションを独り占めできるので嬉しい。
- ・補食（19時に提供）が美味しい。

### 【保護者の声】

- ・8時15分からでは仕事に間に合わないのがありがたい。
- ・急な残業にも対応してくれるのがありがたい。最長20時15分までなので慌てず落ち着いて迎えに行ける。